

Ⅳ 基本計画 第二章 3

政策目標3～教育・文化

人を育み、文化を創造するまち

- 3-1 家庭教育の充実
- 3-2 義務教育の充実
- 3-3 高等学校教育の充実
- 3-4 社会教育の推進
- 3-5 歴史・芸術文化・スポーツの振興



3-1

家庭教育の充実

SDGsとの関連性



1 | 成果指標

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)	目標値 (R16)
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合	小 76.3%	90.0% 以上	100.0%
	中 68.5%		
1日1時間以上家庭で学習する児童生徒の割合	小 38.5%	62.0%	100.0%
	中 30.8%	50.0%	

2 | 現状と課題

○施策を取り巻く社会環境

家庭教育は、子どもの基本的な生活習慣や豊かな情操、自立心の育成、心身の調和のとれた発達を図るうえで重要ですが、一方で、共働き家庭の増加、地域のつながりの希薄化など、家庭を取り巻く環境が大きく変化するとともに、児童虐待や不登校など子どもの育ちをめぐる課題が懸念されており、社会教育の支援と地域ぐるみで子どもの教育に取り組む環境整備が求められています。

○根室市の状況

全児童生徒に向け導入したタブレット端末の家庭への持ち帰り、また、高校生への一人1台パソコンの貸与などから、学校でも家庭でもICTを活用して学びを深める体制の構築、ネットモラル教育を併せ取り組んできました。

経済的事由による教育格差の是正に向けた就学支援をはじめ、不登校等の児童生徒に対する学びの保障、相談体制の構築などの取組を進めています。

また、子どもたちの文化・スポーツ活動の機会充実に向け、学校部活動の地域クラブ活動の移行を推進しています。

MIRAI with NEMURO

10年後の目指す姿

社会全体がつながり、安心して家庭教育に取り組める環境が整っています。

10年後の姿を実現するための取組方針

①地域の多様な主体が連携協力した家庭教育を支援します

地域ぐるみで子どもを育てる意識の向上を図るとともに、親子のふれあいを重視した体験活動や部活動の地域クラブ活動への移行の取組も含め、地域と家庭、学校との結びつきを強化しながら、家庭教育環境を充実させていきます。

主要な取組

コミュニティ・スクールの推進、幼保小中高教育連携、部活動の地域移行等

②経済状況に左右されない家庭教育力の向上を支援します

経済的格差が教育格差とならないよう、就学支援に取り組むほか、児童生徒に配備した一人1台端末の持ち帰りから、家庭でもICTを最大限活用した個別最適な学びや主体的な学びに繋げるなど、家庭教育環境の整備を図ります。

主要な取組

ICT教育環境推進事業、就学援助奨学資金貸付、学校給食費の無償化等

③学校外での多様な学びの場を創出します

学校の社会的な繋がりを促進し、地域や大学、高校との連携、さらには、ICT技術の活用など、子どもの孤立を防ぎながら、多様な個性を持つ子どもたちが共に学び、活躍できる学び場・居場所づくりの取組を進めます。

主要な取組

ふれあいクラブ運営、インクルーシブ教育推進、地域連携推進等

3-2

義務教育の充実

SDGsとの関連性

- 1 貧困
- 4 教育
- 5 ジェンダー
- 10 不平等
- 11 持続可能な都市
- 13 気候変動
- 16 平和
- 17 実施手段

1 | 成果指標

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)	目標値 (R16)
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合	小 76.3%	90.0%以上	100.0%
	中 68.5%		
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいると思う児童生徒の割合	小 81.5%	90.0%以上	100.0%
	中 76.0%		
友達や周りの人の考えを大切に、互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる割合	小 91.1%	90.0%以上	100.0%
	中 87.7%		

2 | 現状と課題

○施策を取り巻く社会環境

先の見通しをたてることができない、予測が難しい大きな社会変容のなかであっても、多様な個人がそれぞれに幸せや生きがいを感じ、地域や社会が幸せや豊かさを感じられる「ウェルビーイングの向上を目指す教育」が求められています。

また、新しい時代の学びの実現に向け、老朽化する学校施設の整備が必要となっています。

○根室市の状況

持続可能な社会の創り手を育てる学校教育の充実に向け、これからのまちづくりの礎に繋がるインクルーシブ教育*の実践や、特別支援教育支援員や介助員などによる学習サポート体制の充実、幼保小中高の横断的な連携体制の強化、学力向上に向けた教員による研修組織での指導方法の工夫・充実などに努めています。また、学校施設として、千島海溝沿い巨大地震が危惧されるなか、耐震性能に課題のあった学校を優先的に整備を進めてきたところであり、今後は、老朽化が著しい大規模校の整備に取り組んでいます。

*インクルーシブ教育：障がいのみならず、人種の別や男女差、性についての指向性、社会的地位や背景の違いなど、あらゆる性別を乗り越えて、一人ひとりの違いを認め、その人が自分らしくあるための選択や決定を尊重する教育をいう。

MIRAI with NEMURO

10年後の目指す姿

多様な考え方や価値観を尊重し、「未来社会を生み出せる人」が多く育まれる教育環境になっています。

10年後の姿を実現するための取組方針

①社会に参加する市民を育てるふるさとキャリア教育を充実します

地域の自然や文化、伝統等に触れる体験活動を通じ、自らの生活や今後の生き方を考える「ふるさとキャリア教育」の充実に向け、学校と地域が一体となって子どもたちの成長を支えるコミュニティ・スクールの取組や、学校内外での多様な学びの確保に努め、多様性を受容し他者と協働する資質・能力を育てていきます。また、これらの取組を後押しする共創空間づくりなど、学校環境整備に努めます。

主要な取組 コミュニティ・スクール、地域連携推進、ふるさと学習、姉妹都市交流等

②自分の世界観をつくりだすレゴブロック型資質能力の育成を図ります

一斉指導からの脱却と併せ、子どもを「主語」としたきめ細かな学習指導を展開し、常識や前提にとらわれず多様化する課題に柔軟に対応できる教育を推進するとともに、主体的・協働的な学びの促進に向け、一人1台端末環境に対応した施設整備、デジタル教科書の導入、メタバースなどの最新技術の活用など、教育DXの推進をはじめ、多様な学習形態に対応できる空間づくり、読書・学習・情報センターとなる学校図書館の充実にも努めます。

主要な取組 一斉指導からの脱却、根室市学校連携教育研究会等による教員研修等

③一人ひとりの個性と価値を認め合うインクルーシブ教育の実現を目指します

障がいのみならず、人種の別や男女差、性自認、性についての指向性、社会的地位や背景の違いなど、あらゆる差別を乗り越えて、一人ひとりの違いを認め、その人が自分らしくあるための選択や決定を尊重する教育の推進に努めます。

主要な取組 インクルーシブ教育の推進、特別支援教育推進事業の実施等

3-3

高等学校教育の充実

SDGsとの関連性



1 | 成果指標

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)	目標値 (R16)
組織的・系統的なキャリア教育が充実していると答えた割合	93.0%	96.5%	100.0%
地域の信頼に応える魅力ある学校づくりの推進ができていてと答えた割合	92.6%	96.5%	100.0%

2 | 現状と課題

○施策を取り巻く社会環境

グローバル化や少子高齢化の進展に加え、Society5.0^{*}の実現に向け大きな産業構造、社会構造の変化が予測されるなか、高等学校教育は、地域の未来を担う人材育成に重要な役割を果たしており、今後においても、子どもたちが幼稚園・保育所から高等学校教育に至るまで、一貫して本市で学ぶことが出来る教育環境の維持が求められています。

○根室市の状況

市内唯一の高校である根室高校に対し、北海道根室高等学校教育振興会を通じ、高校のICT教育の充実にもつながる、高校生への一人1台パソコン貸与や、個別最適な学びを補償するAI学習教材、資格取得等への交付金支給、JR通学費の全額助成などに加え、将来を切り拓くための資質・能力の向上に向けた「総合的な探究の時間」への全面支援など、魅力ある高等学校教育への支援に努めています。

^{*}Society 5.0: 狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(同2.0)、工業社会(同3.0)、情報社会(同4.0)に続く社会であり、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合したシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会と定義されています。

MIRAI with NEMURO

10年後の目指す姿

地域の未来を担う人材育成に向け、
魅力ある高等学校教育環境が充実しています。

10年後の姿を実現するための取組方針

① 高校教育プログラムの魅力化向上の支援に向け、多様な主体と連携した取組を推進します

生徒が自己の在り方生き方を考えながら、自ら学び、自ら考えることを目指す「総合的な探究の時間」をはじめ、高大連携プログラムや就業体験の支援拡充など、市内唯一の高等学校が、地域に根差した教育を推進できるよう、その教育活動への支援充実・魅力化向上に努めます。

主要な取組

教育プログラムの充実(総合的な探究の時間への支援、高大連携の推進)等

② 経済的な理由による教育格差を解消し、

誰もが学びたい・学ぶことが出来る高校教育の環境支援を推進します

高校における教育環境の充実に向け、一人1台端末の貸与をはじめ、個別最適な学びを保障するAI学習教材の導入支援、居住地によって生じる経済的な負担格差の解消に向けた通学支援などにより、経済状況による教育格差の是正に努めます。

主要な取組

教育環境の充実支援(パソコン貸与、学習教材の提供、通学支援等)等

3-4

社会教育の推進

SDGsとの関連性

- 1 貧困
- 4 教育
- 5 ジェンダー
- 10 不平等
- 11 持続可能な都市
- 13 気候変動
- 16 平和
- 17 実施手段

1 | 成果指標

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)	目標値 (R16)
公民館活動への参加率	70.0%	73.0%	76.0%
市民一人当たりの 図書の貸し出し数	3.3冊	3.4冊	3.5冊
青少年向け 地域イベントの開催	40.0%	50.0%	60.0%

2 | 現状と課題

○施策を取り巻く社会環境

少子高齢化や核家族化、ICT機器の常態化に伴い、人々のライフスタイルは幼児期からこうした環境に置かれ、人同士の「つながり」が希薄になっており、公民館活動や各種イベントの参加率の低下、加えて読書離れや活字離れが広がっています。しかし人同士の交流活動や読書活動は、人生をより深みのあるものとするために必要不可欠であり、社会全体でこうした学習活動の推進を図る必要があります。

○根室市の状況

少子高齢化が進むなかで公民館活動も参加者の減や後継者の育成が課題となっており、図書館活動においては、地域を巡回する図書館バスや図書館設備の老朽化などへの対応が課題となっています。多様性が求められる時代において青少年の健全育成にもきめ細やかな対応が必要であり、多世代が健全で豊かな生活を送るための社会教育・生涯学習活動が求められています。

MIRAI with NEMURO

10年後の目指す姿

多世代の市民が社会教育・生涯学習活動を通じて
健全で豊かな生活をしています。

10年後の姿を実現するための取組方針

①社会教育・公民館活動を通じた豊かな暮らしを推進します

社会教育・公民館活動のなかで各種事業を展開することで地域を知り、教養を高め、市民同士のコミュニケーションを円滑にし、地域に誇りをもって市民同士が支え合う豊かなくらしを推進します。

主要な取組 市民大学、成人学校、寿大学、女性セミナーなど

②市民の読書活動を促進します

市民の読書活動の活性化とニーズに合わせた蔵書の充実を図るために、さまざまな形式での情報提供に努め、図書館ボランティアとの連携したイベントの開催等により、読書体験機会の創出を図ります。また、図書館設備の強化や更新等、市民の読書環境の整備を進めます。

主要な取組 郷土資料のデジタル化・読書イベントの実施、図書館の設備整備

③地域社会と連携した青少年の健全育成を目指します

学校・地域社会・各種団体と連携し、各種事業の取組を通じて幼児から青少年が地域との「つながり」を感じ、「居場所」をつくり、多世代との様々な交流や活発な相互コミュニケーションを図ることで健全育成を推進します。

主要な取組 青少年問題協議会、青少年相談室、放課後教室等、各種ボランティア活動

3-5

歴史・芸術文化・スポーツの振興

SDGsとの関連性

- 1 貧困
- 4 教育
- 5 ジェンダー
- 10 不平等
- 11 持続可能な都市
- 13 気候変動
- 16 平和
- 17 実施手段

1 | 成果指標

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)	目標値 (R16)
歴史と自然の資料館の整備等が進み、資料の保存活用が促進され利用等が図られる割合	27.0%	40.0%	50.0%
芸術文化活動により市民の教養醸成が図られる割合	75.0%	78.0%	80.0%
スポーツ施設の利用率	4回/年	8回/年	12回/年

2 | 現状と課題

○施策を取り巻く社会環境

地域の歴史を正しく学び、併せて様々な芸術・スポーツ活動を育んでいくことは、地域への愛着を深め、豊かな生活を送るためには非常に大切です。こうした活動は、心の豊かさを育み、健康を維持し、人間関係を豊かにする助けとなります。また、社会が進歩するなかにおいても守り伝えるべき伝統や文化もあります。伝えるべきものと、新たに取り入れるものとのバランスを考えながら、地域活動を活用していくことが求められています。

○根室市の状況

本市には、継承すべき日本有数の貴重な史跡や天然記念物など、多くの文化・自然遺産、伝統芸能が存在しています。また、幼児から高齢者まで多くの市民が豊かな感性と健康を維持するために様々な芸術文化活動やスポーツ活動に取り組みながら「ふるさと根室」で生き生きと暮らし、郷土を愛する「人づくり」を行っていくことが必要です。こうした取組の機会や環境整備を推進することが重要であるため、老朽化した社会教育施設等の維持管理についても計画的に推進し、利用者の安全確保と利便性向上に努める必要があります。

MIRAI with NEMURO

10年後の目指す姿

ふるさとの歴史学習や芸術活動、スポーツ活動に参加することで、市民の教養や感性、健康意識が醸成されています。

10年後の姿を実現するための取組方針

①郷土資料や文化財の保存活用を推進します

本市の貴重な文化財を後世に伝えるために適切な保存と保護を行うとともに様々な機会を活用し、歴史や文化財の学習機会を提供し、広く市民周知を図ります。また、歴史や自然の貴重な資料を次世代につなぐためには適切な保管環境が不可欠で、保管場所の老朽化・狭隘化に対応しながら環境づくりに努めます。

主要な取組

文化財保存活用推進事業、博物館活動推進事業、北方資料研究活用推進事業

②歴史・自然・芸術文化の学び及びスポーツ活動の支援協力を推進します

みらいのアスリート・アーティスト応援事業など市民自らが取り組んでいる様々なスポーツ・芸術文化活動に対して積極的な支援協力をを行い、健康意識を高め、感性を育み、豊かな市民生活を送れるように支援協力を推進します。

主要な取組

みらいのアスリート・アーティスト応援事業をはじめとする各種文化事業

③スポーツ活動の振興とスポーツ施設の整備を推進します

スポーツイベントの開催など市民がスポーツにふれる機会を増やし、また、スポーツ選手の講演会開催や大会への遠征費等支援など、スポーツ活動への市民意識が向上する取組を行います。スポーツ施設については、既存施設の維持管理は勿論のこと、全道大会公認施設への適合や新たなスポーツジャンルへの対応など、複合化及び集約化を基本とした「防災拠点型総合体育会館(平常時におけるスポーツの殿堂)」の整備推進に取り組むとともに、指導者の育成をはじめ、部活動の地域移行後における地域スポーツクラブの活動拠点化を図ります。

主要な取組

スポーツ活動の振興、スポーツ施設の維持管理、総合体育会館建設事業